

『やまがた景観物語』

山形県には他で見る事の出来ない美しい景観が数多くあります。その中からぜひ一度は足を運んでいただきたいおすすめ場所として『やまがた景観物語』おすすめビューポイント」を選定し、様々な企画を通して、地域の活性化や交流人口の拡大に取り組んでおり、これまでに県内外から、年間1万人を越える方々（QRコード読み取り数より）がビューポイントを訪れています。

やまがた景観物語公式HPアクセス数・SNS情報発信の効果

1/4

令和4年度にビューポイント60を追加選定し100ヶ所となりました。QRコードの読み取り数は、ビューポイント現地標識を令和5～6年度にかけて整備を行います（現在は仮標識で対応）。現地標識は初めて行く場合は読み取るが、リピートで訪れる方は読み取らない傾向があります。そのため、今年度は、まだやまがた景観物語を知らない層に向けた情報発信を強化しました。

【Instagramフォト・ムービーコンテスト】

ビューポイントの魅力を多くの人に伝えるフォトコンテスト。8年目を迎えた今年も四季折々の美しい作品が寄せられました。前年同時期の応募数が126%増えました。継続によりフォロワー数は一定数で増加。

《R5年4月～R6年2月末までの総数》

- ・応募作品数 2,841点（エントリー総数）
- ・入選作品数 461点（Instagramのリポスト数）
- 春夏秋冬の4期に分けて開催し、各期以下の商品を発送。
- 季節賞：10,000円の県特産品（「いいね」が最も多い作品）
- ラッキー賞：2,500円の県特産品（入選作品から抽選で2点）

Instagramフォロワー数累計と
フォトコン参加者



【4K空撮動画制作】

H27から公式Youtubeチャンネルを開設し、R3年度よりビューポイントの美しい時期や時間を切り取った4Kドローン動画を制作し、現在14本配信しています。

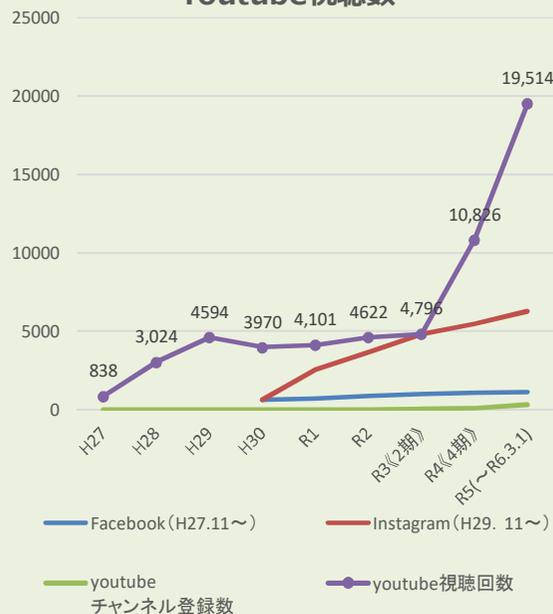
メリット：限られたベストシーズンに足を運べない人でも臨場感のある動画で景観物語を認知してもらえる。

デメリット：現地に行く行動に繋がったか検証できない。制作本数が少ないため、チャンネル登録に結びつかない。

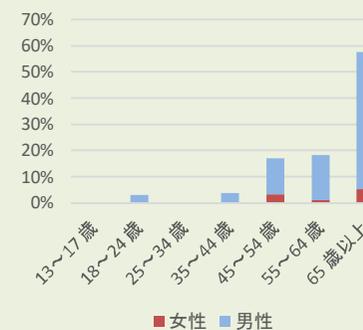
年齢層に大きな偏りがある。

SNSのフォロワー数及び

Youtube視聴数



YouTube視聴者の年齢



今年度の制作VP：
立谷川芝桜、丸池様、
南陽スカイパーク、幻想の森



【景観物語特設HP】

SNSとは対照に、HPのアクセス数は、R4年度の改修前より若干低下している。

HPアクセス者数（年度別）



新たな層に対し、景観物語が認知されるよう、2月21日から3月13日までの3週間、東北エリアの18歳以上を対象に、最もユーザー数の多いInstagramからHPに誘導するWeb広告により、情報発信を行っている。

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業名 「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」

3 / 9 ページ

寄附企業：いであ株式会社 様、 S&Eシステムズ株式会社 様、 キタイ設計株式会社 様、 株式会社近代設計 様、

株式会社C P C 様、 株式会社中央技術コンサルタンツ 様、 株式会社復建技術コンサルタント 様 (※(株)以下の五十音順にて表示)



「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」内での「やまがた景観物語」の位置付け

「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」は企業版ふるさと納税に係る認定地域再生計画（令和元年度第4回）にて認定されています。『やまがた景観物語』の取組みは計画内の「地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり」取組みとなっており「未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用」「環境学習・環境保全活動への参加数の増加」を目標としています。

やまがたの誇れる景観魅力発信事業 県民に向けた意識醸成 令和4年度より、県民に向けた景観意識の醸成を図るため、あらゆる世代が「景観」を学ぶ事業を始めました。

「景観」に触れる・感じる・学ぶ

3/4

【景観出前授業】 事業2年目



市町村と連携して小学生を対象とした「景観出前授業」を開催しました。「景観」を意識し、地域の街づくり活動を知ることで郷土愛を育み良好な景観を守り育てる行動につなげることを目指します。

今年度は、先生達の出前授業後の展開を意識しながら、それぞれの学校に合った授業の構成を考え、座学後、スクールバスで学校周辺の景観を巡り、その場所を保全している方の話を伺う等した。



●開催実績① 南陽市立宮内小・荻小学校(合同開催)



●開催実績② 米沢市立六郷小学校、大江町立本郷東小学校



●開催実績③ 大江町立本郷東小学校

【成果】授業後、学校側では、景観について生徒達が自ら考え行動する実践的学習を展開した。

【景観探検まちあるき】 事業2年目



地域住民が「まちあるき」を通じて地域の魅力を再発見するものです。地域の歴史や景観を知り、人々の営みやまちなみを探検し、地域で景観を守り育てる行動につなげることを目指します。

【わくわく！米沢景観探検まちあるき～城下町の水路を巡ろう！～】

米沢市では、将来を担う米沢の子供達が自分達の町を知る機会を創出することで、町を好きになり、子供と共に親も一緒に学び、景観を考え自ら良くする行動を起こすきっかけとなりとなるような意識醸成を図ろうと開催。

米沢市は出前授業とまちあるきを開催するノウハウを得て、次年度より市単独で開催予定

アンケートの声

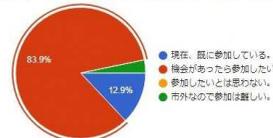
- ・町の知らないことや、初めて知ったこともたくさんありました！米沢の歴史を知れて良かったです！
- ・いつも生活している街なのに、知らない事ばかりで、ためになりました。昔の建物やみちが残っている事、すごいと思いました。街や橋、道の名前に注目してみます。
- ・何気なく通っていた道路の云われなどを知れる機会はなかなかないので、とても有意義や時間でした。
- ・山あてが実感できて、昔の都市計画を知ることが出来た。
- ・歴史的建築や庭園が素晴らしい。



【ドキドキ！上山景観探検まちあるき～お城周辺の坂と歴史的建造物を巡ろう！～】

上山市では、幅広い年代の市民に向けて景観に対する意識醸成を図ろうと開催。市ではまちあるきを開催するノウハウを得て、令和6年度より市単独で景観出前授業と共にまちあるきを開催予定。まちあるき開催後にガイド養成講座を行い、市民自らが町をガイド出来るようなスキルを身につけたり、行政と市民が一体となって景観まちづくりを進められるコミュニティの形成を目指す。

11、景観づくり活動（美化・保全活動）に参加したいと思いましたが、



【成果】2市とも次年度以降独自に取組み、普及啓発を継続させることが出来た。

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業名 「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」

4 / 9 ページ

寄附企業：いであ株式会社 様、 S&Eシステムズ株式会社 様、 キタイ設計株式会社 様、 株式会社近代設計 様、

株式会社C P C 様、 株式会社中央技術コンサルタンツ 様、 株式会社復建技術コンサルタント 様 (※(株)以下の五十音順にて表示)



「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」内での「やまがた景観物語」の位置付け

「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」は企業版ふるさと納税に係る認定地域再生計画（令和元年度第4回）にて認定されています。『やまがた景観物語』の取組みは計画内の「地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり」取組みとなっており「未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用」「環境学習・環境保全活動への参加数の増加」を目標としています。

やまがたの誇れる景観魅力発信事業 県民に向けた意識醸成 令和4年度より、県民に向けた景観意識の醸成を図るため、あらゆる世代が「景観」を学ぶ新規事業を始めました。

「景観」に触れる・感じる・学ぶ

4/4

【広告景観コンテスト】 事業2年目

屋外広告物は、景観への配慮等の理由から、条例で設置場所や大きさを規制していますが、色や形など意匠的な制限はありません。

本事業は、地域の景観づくりに貢献している屋外広告物を表彰することで、多くの皆さんに、屋外広告物による景観への影響を意識するきっかけづくりをするものです。

主催 やまがた広告景観コンテスト実行委員会
 構成員：山形県、山形市、東北芸工大、広告業団体

●屋外広告物実作部門（山形県知事賞）

店名	と横丁	所在地	山形市	受賞者	株式会社天童ホテル 殿
店名	いではCOCCO	所在地	山形市	受賞者	株式会社半澤鶏卵 殿
店名	みやさかや	所在地	山形市	受賞者	株式会社タスクワーズ 殿
店名	COCOT	所在地	山形市	受賞者	和光食材株式会社 殿
店名	日和山小幡楼	所在地	山形市	受賞者	酒田市 殿

●広告景観デザイン提案部門（山形県知事賞）

受賞者	鷹左右 凜様	作品名	「言葉と巡る山寺」
受賞者	木村 みずき 様	作品名	「歴史を重ねる屋外広告」
受賞者	長谷川 風花様	作品名	「ぬくもりに溶ける看板」
受賞者	株式会社小泉創芸 殿	作品名	「四季を切り取る、山寺再発見」

【成果】

第2回広告景観コンテストの表彰式を、令和5年11月14日に「山寺コミュニティセンター（山形市）」で開催しました。

- ・応募数 実作部門21点（うち受賞5点）、提案部門6点（うち受賞4点）

・表彰式は、山形県屋外広告美術協同組合主催の「第9回山形広告景観タウンミーティング」との合同開催とし、受賞された広告主をはじめ、設計者及び施工者を含めて関係者に広く出席いただき表彰を実施しました。



A 屋外広告物実作部門

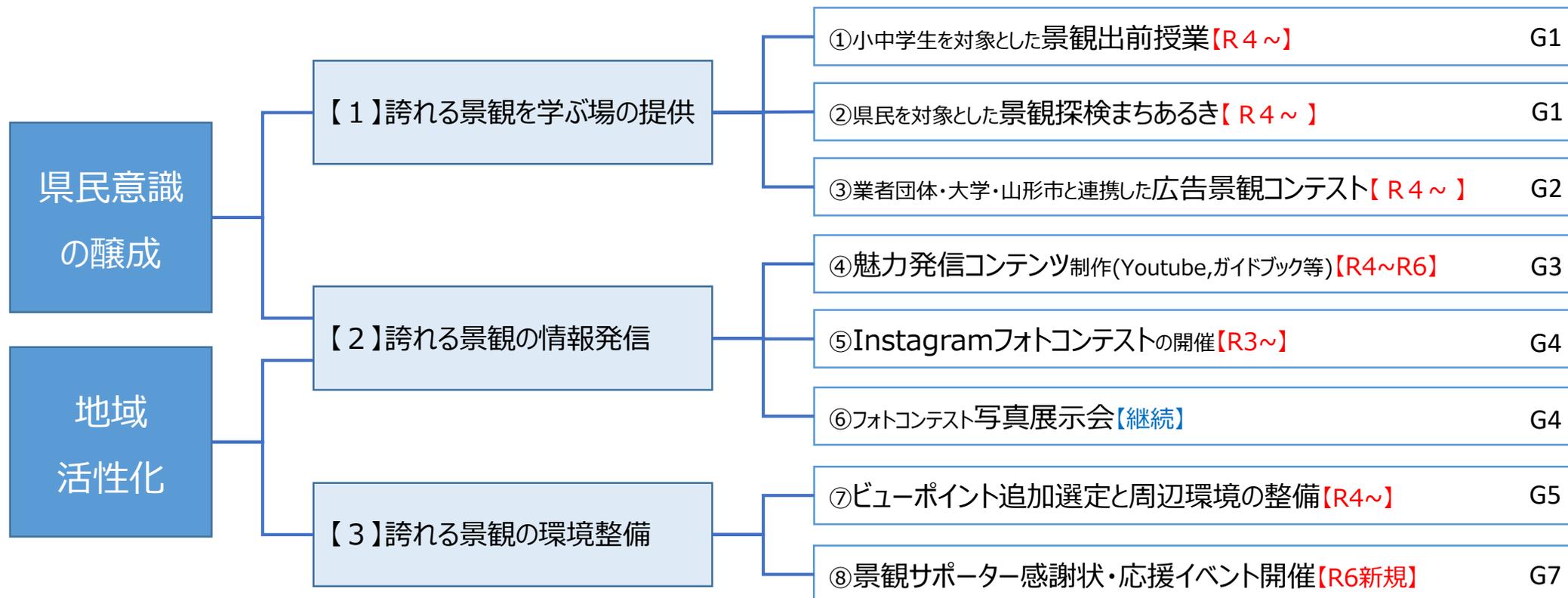
- 山形県知事賞 店舗等名「と横丁」 受賞者 株式会社天童ホテル 殿
- 山形市長賞 店舗等名「いではCOCCO」 受賞者 株式会社半澤鶏卵 殿
- 東北芸術工科大学学長賞 店舗等名「みやさかや」 受賞者 株式会社タスクワーズ 殿
- 日本屋外広告業団体連合会会長賞 店舗等名「COCOT」 受賞者 和光食材株式会社 殿
- 審査員特別賞 店舗等名「日和山小幡楼」 受賞者 酒田市 殿

B 広告景観デザイン提案部門

- テーマ：「自然を感じ、歴史が香る、居心地のいいまち」
- 対象エリア：山形市山寺地区
- 山形県知事賞 鷹左右 凜様 作品名「言葉と巡る山寺」
- 山形市長賞 木村 みずき 様 作品名「歴史を重ねる屋外広告」
- 東北芸術工科大学学長賞 長谷川 風花様 作品名「ぬくもりに溶ける看板」
- 日本屋外広告業団体連合会会長賞 株式会社小泉創芸 殿 作品名「四季を切り取る、山寺再発見」

目的	現状	課題
① 将来に渡り景観を整備・保全する県民意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramフォトコン等によりVP来訪者が増加。 ・VPを通じて県民、市町村の景観への関心の高まり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを利用しない世代等への発信が不足。 ・誇れる景観を十分に掘り起こせていない。
② 地域の個性や多様な交流の促進による地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村における景観地域づくりの取組みの停滞。 ・地域で景観保全に取り組む団体等が多数存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村はマンパワー不足で余裕がない。 ・高齢化により、景観保全の継続が困難。

対応方針；上記を踏まえ、以下の3つの柱を軸に取組みをすすめる。



【1】誇れる景観を学ぶ場の提供

(1) 景観出前授業【R4～】

小・中学生を対象とした景観の出前授業を実施



(2) 景観探検まちあるき【R4～】

地域住民がまちあるきを通じて地域の魅力を再発見



(3) 広告景観コンテスト【R4～】

県・山形市・屋外広告業団体・東北芸工大で優れた屋外広告物と屋外広告デザインのコンテストを共催



【2】誇れる景観の情報発信

(1) Instagramフォトコン・写真展【継続】



(2) 景観魅力発信コンテンツ【R4～】

追加指定したVPや眺望景観資産などを盛り込んだWebコンテンツ（HP、YouTube）【R4～】や景観ガイドブック「やまがた景観物語100」【R5】を出版



4Kドローン空撮動画について、NTT東日本社屋デジタルサイネージなどで放映



景観ガイドブック「やまがた景観物語100」

【3】誇れる景観の環境整備

(1) 景観VPの指定・周辺環境整備【拡充】

一般公募、市町村推薦等によりVPを追加指定し案内看板の設置など周辺環境を整備



(2) 景観サポーター感謝状・応援イベント開催【新規・R6～】

地域の景観を保全する取り組みをしている団体や個人に対して感謝状を贈呈し、その存在を応援イベントを開催しビューポイントと共にPR。将来にわたっての保全活動へのつながりを育くむ。



「やまがた景観100物語」 (3年計画)

平成27年度より開始した「やまがた景観物語」をさらに活用することにより、将来にわたり景観を保全する県民意識の醸成と、来訪者増加による地域活性化を図る。

1年目 (R4)

VP100箇所の選定

- ①追加40箇所の公募・推薦の手続き
一般公募、市町村の推薦
- ②該当箇所の調査
景観およびアプローチや近隣の環境調査
- ③選定委員会の開催
選定委員への説明、選定結果の公表
- ④選定箇所の環境整備
看板・標識の作成設置、周辺環境の整備
- ⑤VPコンテンツ作成
HPの改修、写真・動画の作成

2年目 (R5)

「やまがた景観百物語」の普及に向けた環境整備

- ①VP100箇所を網羅するガイドブックの制作
市町村や関係団体との連携により制作
- ②選定箇所の環境整備
看板・標識の作成設置、周辺環境の整備
- ③VPコンテンツ作成
写真・動画の作成
- ④情報発信
Instagramにて、東北エリアの18歳以上のユーザーを対象にWeb広告を使った情報発信を実施

3年目 (R6)

「やまがた景観物語100」の普及

- ①景観サポーターへの感謝状(G07)
VPの環境保全を行う地区住民やボランティアグループに感謝状を交付してPRすることで、サポーターを増やし、地域に愛されるVPに育てる。
- ②景観物語100をPRするイベントの開催
保全活動に取り組む地域団体の参加のもと、地域の景観をテーマに関係者間のつながりを創出するイベントを開催する。
- ③民間が企画する広報展開の創出
 - ・ガイドブック発行代理店が企画するバスツアーの開催
 - ・ふるさと納税返礼品として上記バスツアーとガイドブックをセットにした旅行企画としての登録
- ④VPコンテンツの活用
 - ・協賛企業との連携によるPR
(郵便局との連携による記念郵便切手の発行、飲料メーカーキャンペーンとのコラボや、保全活動への協力など)
 - ・観光インバウンド向け資料としての活用
 - ・外国語版ガイドブック(電子版)の作成

G01(景観探検まちあるき・景観出前授業)、G02(広告景観コンテスト)、G04(Instagramフォトコン・写真展示会)は3か年を通じて取り組む

1 背景

・R5年度制作のガイドブック「やまがた景観物語100」では、多くのビューポイントで保全活動を行っている方々がいて、掲載したインタビューを通じてご苦労や課題が把握された。こうした取り組みが将来にわたって継続されることが景観保全には不可欠である

2 目的

・景観ビューポイントの環境保全を行う地区住民やボランティアグループに感謝状を交付してPRすることで、美しい景観を維持する人々の存在の大切さを自他ともに周知・認識してもらい、保全活動への気運高め、賛同する人々をつなげ、将来にわたって地域に愛され受け継がれる景観ビューポイントに育てる。

3 内容

- ・県土の景観を保全する取り組みへの感謝状を贈呈する。
- ・県内4地域ごとに、やまがた景観物語100の普及イベントを開催する。

『地域の景観』という広い視点で関係者（地域住民、移住者、自治体関連部局、協賛関連企業など）を横断的に招き、保全活動の取り組みを周知PRし、将来にわたって美しい景観が持続されるよう、その方々が抱える課題を探り、解決につながる人々同士をつなげる場として機能させる。

4 効果

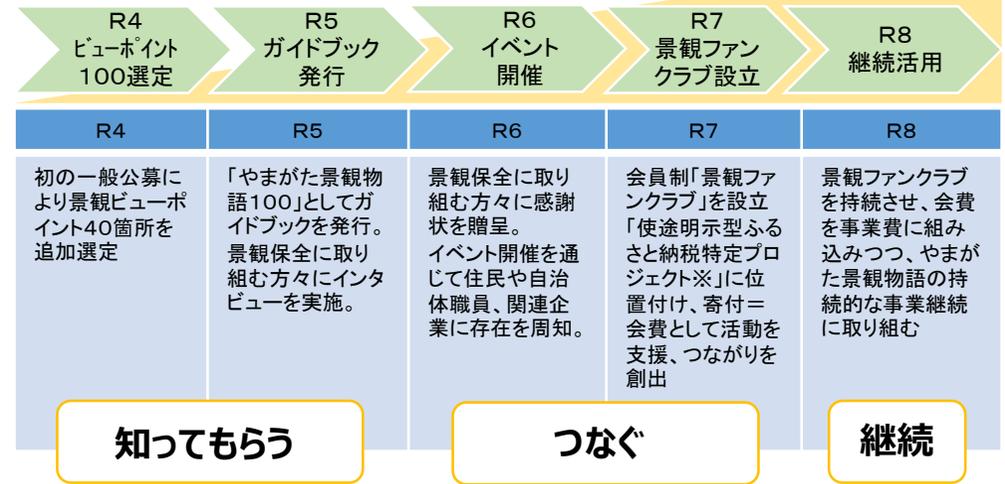
イベントによる交流により、課題を地域住民や自治体職員が共有し、課題解決に向けた取組みに繋がる機運を高め、地域全体の景観保全意識の底上げを図る。

【イベントの構成イメージ】

- 1) プレゼンテーション ～ 開催地域の景観の良さを伝えるプレゼンテーション
- 2) 基調講演 ～ その地域の景観の素晴らしさを語ってもらう。
- 3) 感謝状授与式 ～ 存在の周知PR
- 4) パネルディスカッション ～ 当事者・移住者・外国人等様々な視点で
- 5) 交流タイム・展示ブース紹介 ～ ガイドブック販売、コラボ企業の出店等
- 6) やまがた景観ファンクラブ設立への意向聴取アンケート

つながりを創出する場としてのイベント

4 「やまがた景観物語」これまでの経過と今後の展開



(※使途明示型ふるさと納税特定プロジェクト
...県内在住者も寄付可能！金銭的な返礼品は認められないが感謝状や会費ポストカードなどは贈呈できる。)

【参加者】～知ってもらいたい、つながってもらいたい関係者～

- 地域住民 ○移住者 ○自治体関連部局
- 県内在住外国人
(外国人から見た景観、外国語版ガイドブックへの意見反映したい)
- 協賛企業
(・企業版ふるさと納税企業・景観とのコラボを希望する企業観光事業者、飲料水メーカー、ゆうせい「記念切手」、など)



「用途明示型 ふるさと納税 特定プロジェクト」制度を利用した「会員制やまがた景観ファンクラブの創設・運営」

1 内容

- ・山形県の景観の魅力を維持するために応援してくれる人々を対象に会員制ファンクラブ事業を構築する。
- ・「企業版ふるさと納税」「用途明示型ふるさと納税特定プロジェクト」制度のフレームを利用して、会費＝寄付を募り事業費に充てる。
- ・事業内容として、景観ビューポイントの環境整備、保全活動経費補助、会員向け会報発行、観光事業者と連携した景観魅力発見ツアーなど、将来に渡って景観が保全され、魅力が拡散される取り組みを継続して実施する。

2 目的とねらい

- ・「やまがたの景観」のPR用として設けているウェブサイトの閲覧者の属性を解析した結果、県外の閲覧者が少なくない（約40%）傾向にある。
- ・山形の景観に興味を持ってきている方々を対象に会員として募り、県は事務局としてのやりとりを通じて、会員と地域の方々とがお互い顔が見えるつながりを生み出すことで、持続的な事業継続を図る。



※用途明示型ふるさと納税特定プロジェクトへの寄付は県内在住者でも可能

やまがた景観ファンクラブ会員
(県内外在住者)
(協賛企業)

知ってもらう
◎定期的な会報発行(情報発信)
◎感想・要望等アンケート実施
◎各ビューポイント関連イベントの案内 etc...

会員事務局
(県土利用政策課)
継続

つなぐ
◎定期的な取材(状況把握)
◎支援につながる制度紹介
◎来訪を希望する会員との仲介
◎協賛企業との連携企画提案 etc...

やまがた景観ビューポイント
保全活動団体等

【会員名簿】山形応援寄付金 用途明示型ふるさと納税(やまがたの景観 応援プロジェクト) 寄附者一覧

番号	氏名	フリガナ	郵便番号	製造府県	市区町村	町目・番地	電話番号	寄附金額(円)	申込日
1	山形 太郎	ヤマガタ タロウ	980-000	山形県	山形市	5-38-35	090-0000-1111	1,000	2024年4月19日
2	宮城 次郎	ミヤギキ シロウ	987-000	宮城県	仙台市		090-0000-2222	2,000	2024年6月20日
3	千葉 A子	チバ エーコ	300-0844	茨城県	土浦市	2-2	090-0000-3333	2,000	2024年8月28日
4	佐藤 早希	サカ ヒノキ	980-0892	兵庫県	尼崎市		090-0000-4444	1,000	2024年12月30日
5	〇〇 ●●	〇〇 ●●	000-0000	〇〇県	〇〇市	3-4	090-0000-3324	2,000	2024年6月20日
6	〇〇 ●●	〇〇 ●●						00	2024年8月28日
7	〇〇 ●●	〇〇 ●●						00	2024年12月30日
8	〇〇 ●●	〇〇 ●●						00	2024年8月28日
9	〇〇 ●●	〇〇 ●●						00	2024年6月20日
10	〇〇 ●●	〇〇 ●●						00	2024年12月30日
11	〇〇 ●●	〇〇 ●●	000-0006	〇〇県	〇〇市	3-7	090-0000-3337	2,000	2024年6月20日

ふるさと納税寄付者名簿＝会員名簿として
会員の属性情報を管理

【事務局の役割】

- ◎ つなぐ役割に徹して継続する仕組みとすることで、県単独予算に頼らない事業の継続を図る。
- ◎ 会員名簿管理 ◎ 会員募集につながる景観の魅力発信
- ◎ 定期的な会報発行(現場の声インタビュー～季節写真掲載)
- ◎ 景観保全に係る環境整備、保全活動への支援、観光事業者へのコンテンツ提供、協賛企業等との連携企画



(ガイドブック制作時に取材させてもらったビューポイントの保全に携わっている方々)